

《知恵と笑気で心の奉仕》 泉会長体制がスタート



いよいよ泉会長のスタッフの船出である。会員減少の中、これから一年間「知恵」と笑気でクラブを引っ張っていかれる泉会長を、我々も一丸となって協力し、「りんどうLC」の名を挙げなければならぬ。前期は九名もの退会者があった。その中でも、江頭正利の逝去は痛恨事であった。



名前が挙がっている。若い新入会員の登場は、楽しみである。オノオノ方、今期もファイトを出して頑張ってくださいませよう。
 川嶋前会長はじめ、五役の皆さん、ご苦労様でした。緊縮財政の中、この一年間大変でした。

江口新幹事がキャビネット主催次期三役研修会出席の折「ボランテア」とは何かというこころが崇高で貴いネットでは返答に窮されたそうである。

↑五役退任挨拶 前会長・幹事は少し寂しそう・・・!?
 ↓2003年度最後の「また会う日まで」♪



五役の方々以下、この厳しい予算の中でのりんどうLCの皆さんの底力を見る思いをしました。これは決してクラブの自画自賛ではない。川嶋前会長のクラブモットーであった「積小為大の道を着実に歩む」は達成された。

「ボランテア」の語源は「意思」とある。単に無料で働くということではない。「自らの意思で」というこころが崇高で貴いと解してある。

さらにインテリによる戦前の植民地支配に対する安っぽい贖罪意識をふりまわすもんだから、今日までの悲劇を生んでしまった。今日の新聞(6月30日)にはゼンキンス氏がインドネシアでの再会を誇っている一面にある。どこの国の軍隊でも、脱走兵には厳罰でのぞむ。我々は、お涙頂戴に弱い国民である。あれはあれ、これはこれと、世の中を厳しく看ることは必要ではないか。

犬声 狎語

わたしは今の北朝鮮のゆく末に並々ならぬ興味を持っている。核、拉致、曾我さん一家、それよりも何よりも、金体制がいつどの様にして崩壊するのか、私が目の黒いうちに見届けたい。

六月十八日、L. 高倉 章の
 ご母様がお亡くなりになりました。
 (享年九〇歳)
 慎んで、お知らせ致しますと
 共に、心から、「冥福を
 お祈りいたします。
 合掌

平成16年
 7月2日号
 通巻第24号
 PR委員会発行

